

ヴォイスとその周辺
—中国語：受動表現を中心に—

加藤晴子

「動詞の表わす動作」を中心とした、「動作主(agent)」と「受動者(patient)」の文中での現われ方

I. 日本語の受動表現に対応する中国語の表現 [=第14号]

中国語の 能動表現： A VR B [V: 動詞, R: 結果を表わす要素]
受動表現： B 被 (A) VR
BEI
B 叫/让 A VR ⇒使役も表わす⇒III
JIAO/RANG

- (1) 王さんは李さんに殴られた。(直接受身)
小王 被 小李 打 了 。
王さん <受動> 李さん 殴る <実現>
- (2) 王さんは李さんに足を踏まれた。(持ち主の受身, 体の部分)
小王 被 小李 踩 了 脚 。
王さん <受動> 李さん 踏む <実現> 足
- (3) 王さんはスリに財布を盗まれた。(持ち主の受身, 持ち物)
小王 被 小偷儿 偷 了 钱包 。
王さん <受動> スリ 盗む <実現> 財布
- (4) 昨日の夜, 私は赤ん坊に泣かれた。それで一晩中眠れなかった。(自動詞からの間接受身)¹⁾
a* 昨天 晚上 我 被 孩子 哭 了 。 →
昨日 夜 私 <受動> 子供 泣く <実現>
b 昨天 晚上 我 被 孩子 哭 得 一夜 都 没 睡着 。
昨日 夜 私 <受動> 子供 泣く <結果の導入> 一晩 ずっと <実現の否定> 眠る <達成>
- (5) 新しいビルがあのかによって建てられた。(モノ主語受身, 一回的)
a* 新的 大楼 被 那家 公司 盖 成 了 。 →
新しい ビル <受動> あのか 会社 建てる <完成> <実現>
b 新的 大楼 盖 成 了 。 ⇒(16)
新しい ビル 建てる <完成> <実現>
- (6) 香港では広東語がはなされている。(モノ主語受身, 恒常的, 動作主が問題にならない場合)
a* 在 香港 广东话 被 说 。 →
で 香港 広東語 <受動> 話す
b 在 香港 人们 说 广东话 。
で 香港 人々 話す 広東語

(7) 財布がスリに盗まれた(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)

钱包 被 小偷儿 偷 了 。

財布 <受動> スリ 盗む <実現>

(8) 壁に絵が掛けられている(モノ主語受身, 結果状態の叙述)

墙上 挂 着 一幅 画儿 。

壁 掛ける <持続> 一幅 絵

(9) 王さんは紅さんに／から愛されている。(感情述語の受身)

a*小王 被 小红 爱 了 。

王さん <受動> 紅さん 愛する <実現>

b 小王 被 小红 爱 上 了 。（王さんは紅さんに見初められた。）

王さん <受動> 紅さん 愛する <開始> <実現>

(10) 王さんは先生に／から「…」と言われた。(伝達動詞の受身)

小王 被 老师 说 “你 应该 更 努力 学习 。”

王さん <受動> 先生 話す 君 すべき さらに 努力する 学ぶ

II. 中国語の受身の展開

(11) (能動文) 小王 打 碎 了 杯子。 王さんがグラスを割った。

王さん 壊す 砕ける <実現> グラス

→(受動文) 杯子 被 小王 打 碎 了 。

グラス <受動> 王さん 壊す 砕ける <実現>

→(不特定動作主による受動文) 杯子 被 人 打 碎 了 。

→(動作主なしの受動文) 杯子 被 打 碎 了 。

→(受動者主語文) 杯子 打 碎 了 。

⇒動作主の背景化／受動者と受動者に起こった変化の前景化〔三宅 2009〕

(12) a 杯子 被 打 碎 了 。

b 杯子 ___ 打 碎 了 。

c? 杯子 被 打 ___ 了 。

⇒中国語において受動化に直接かかわるのは“被”ではなく、述語動詞〔石村 2005³⁾〕

(13) 中国队 打 败 了 。

中国チーム 戦う 敗れる <実現>

中国チームが敗れた。

(14) 中国队 打 败 了 日本队 。

中国チーム 戦う 破る <実現> 日本チーム

中国チームが日本チームを破った。

⇒人主語でも結果を表わす要素のついたものは受動的読みが優勢

- (15) a 小王 写 错 了 奖 状 。 王 さん が 賞 状 を 書 き 間 違 っ た 。
 王 さん 書 く 間 違 う < 実 現 > 賞 状
 b 奖 状 被 小 王 写 错 了 。 赏 状 が 王 さん に 書 き 間 違 え ら れ た 。
 赏 状 < 受 動 > 王 さん 書 く 間 違 う < 実 現 >
 c 奖 状 被 写 错 了 。 赏 状 が 書 き 間 違 え ら れ た 。
 d 奖 状 写 错 了 。 赏 状 が 書 き 間 違 っ た 。

- (16) a 小王 写 好 了 信 。 王 さん が 手 紙 を 書 き 上 げ た 。
 王 さん 書 く < 完 成 > < 実 現 > 手 紙
 b* 信 被 小 王 写 好 了 。 手 紙 が 王 さん に 書 き 上 げ ら れ た 。
 手 紙 < 受 動 > 王 さん 書 く < 完 成 > < 実 現 >
 c* 信 被 写 好 了 。 手 紙 が 書 き 上 げ ら れ た 。
 d 信 写 好 了 。 手 紙 が 書 き 上 が っ た 。

⇒ 受動的読みがなされるものに更に“被”を加えると不成立となる場合もある。
 ⇒ (15)と(16)の違いは「迷惑の感情・被影響感」か。

○ 結果を表わす要素の重要性 ⇒ 他の言語ではどうか。

○ 感情移入のレベル ⇒ 他の言語ではどうか。

- (17) (満腹なのに)母に無理やり食べさせられた。
 a 我 已 经 吃 饱 了 ， 母 亲 还 逼 我 吃 。
 私 す で に 食 べ る 満 腹 < 実 現 > 母 さ ら に 迫 る 私 食 べ る
 b* 我 被 母 亲 逼 吃 了 。
 私 < 受 動 > 母 迫 る 食 べ る < 実 現 >

⇒ 主語が交代せざるを得ない。

III. 中国語の他の表現形式との関連 [=第 17 号]

中国語の 受動表現⁴⁾: B 被/叫/让 A VR
 処置表現⁵⁾: A 把 B VR
 BA
 使役表現⁶⁾: A 叫/让 B V(R)⁷⁾

- (18) a 我叫他拉__了。 彼に引っ張らせた。 ×
 b 我叫他拉倒了。 彼に引き倒させた。 彼に引き倒された。

⇒ 結果的影響性の弱い動詞も結果を示す表現にすれば、使役と受動の両方が表せる [齋藤 2010]

⇒ (19)(21) ⇒ 受動表現の成立には結果を表わす要素が重要。

⇒ 受動表現は処置表現との関連が使役表現との関連より強いのではないか。

(19) 司机 叫 乘客 弄 下 车 了 。

運転手〈受動・使役〉 乗客〈事態の招来〉 降りる 車〈実現〉

運転手は客に車から降ろされた。

(20) 司机 把 乘客 弄 下 车 了 。

運転手〈処置〉 乗客〈事態の招来〉 降りる 車〈実現〉

運転手は客を車から降ろす。⇒(21)より緊急性が高い。

(21) 司机 叫 乘客 下 车 了 。

運転手〈~~受動~~・使役〉 乗客 降りる 車〈実現〉

運転手は客を車から降ろす。⇒実際に降りたかどうか、結果については不問。

注

- 1) 三宅 2009 では「使役的事態」と説明する。
- 2) 三宅 2009 では「グラスは割れた。」
- 3) 例文は三宅 2009 に合わせた。
- 4) 木村 2012 では「受影文」と呼ぶ。
- 5) 木村 2012 では「執行使役文」と呼ぶ。
- 6) 木村 2012 では“叫”を使う「指示使役文」，“让”を使う「放任使役文」，“使”を使う「誘発使役文」に分ける。
- 7) すべての使役表現で R が随意なのではないが、あくまでも表したい内容によって要不要が決まるのである。

参考文献

- 石村 広 2005 「類型特徴から見た中国語の受動文」『成城文藝』第 192 号 pp.142-128
- 大河内康憲 1997 「被動が成立する基礎—日本語などとの関連で—」『中国語の諸相』白帝社 pp.115-134 (『中国語学』第 220 号(1974 年)初出)
- 木村英樹 2012 「ヴォイスの意味と構造」『中国語文法の意味とかたち——「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究』白帝社 pp.187-213
- 斎藤純男 2010 『言語学入門』三省堂 pp.94-96
- 三宅登之 2009 「行為連鎖の観点から見た中国語の“被”構文」『語学研究所論集』第 14 号 pp.33-64